

スポーツビジネスに特化したベンチャーファンドの創設計画

スポーツクラブマネジメントコース
5006A307-1 石倉 充

研究指導教員： 間野義之助教授

本リサーチペーパーでは、日本のスポーツを取り巻く環境を踏まえ、金融の分野から、スポーツ・ビジネスの振興に貢献する方策を考察した。スポーツの世界でイノベーター的なビジネスモデルを考え経済的基盤を築きつつ社会貢献していこうという起業家を応援してゆきたい。そういう社会貢献意欲に溢れた起業家が日本のスポーツ界を盛り上げスポーツ文化を豊かにし、ひいては私たちの社会が活力に満ち心身ともに健全で豊かなものとなる。

民間には莫大な金融資産が蓄積されているが、民間資金がスポーツ産業により円滑に流れる仕組みの一方法としてスポーツビジネスに特化したベンチャーキャピタルファンドの創設プランを採り上げた。また、民間資金がより効果的に活用されるためには、ベンチャー企業が成功するように指導育成していく必要がある。そのポイントは何であるか、スポーツ・ビジネス・ベンチャーの成功要因を考察し、投資対象先についてベンチャー企業としての特徴を大まかにつかむためのフレームワークを考察した。

1 ミッションとビジョン

① ミッション

スポーツビジネスベンチャーの支援育成を通じ、スポーツ産業の振興と、全ての人々が健康で豊かなスポーツライフを楽しむ社会を実現する。

② ビジョン

- A. 人々から最も尊敬される会社・従業員が誇りや働く喜びを実感できる会社
- B. 優秀な若者の集まる会社
- C. スポーツビジネスに特化し、支援・育成能力に優れた専門性の高い企業

2. 事業の概要

スポーツビジネスに特化したベンチャーキャピタルファンドを設立し、社会貢献度の高い有望なベンチャー企業を発掘し、総合的に育成支援していく。

ファンドを通じて、我が国の約1,500兆円に達する莫大な個人金融資産がスポーツビジネス振興に流れる仕組みを創出する。株式公開を通じて、スポーツビジネスを通じてキャピタルゲインを得る創業者を輩出し、スポーツビジネスベンチャーを支援するエンジェルやメンターとして貢献する人材を生み出し、スポーツビジネスへの投資・育成の好循環を創出する。そうした、投資・育成業務を通じてスポーツビジネス産業の高度化に貢献する。

スポーツビジネス投資で先鞭をつけることにより、我が国のプライベートエクイティがこの分野に注目するような流れを作り、スポーツ産業への投資とスポーツ振興が加速する原動力となることを目指す。

3. ビジネスモデル

スポーツビジネスファンドを立ち上げ、その投資管理業務を受託する。

自らの資金の一部を直接投資する。投資管理受託手数料で経常費用部分をまかない、コンサルティングや人材紹介によるフロー収入と直接投資によるキャピタルゲインとで変動費を上回る収益を確保する。投資の出口としては新興企業市場などへの株式公開を主とする。

4. 市場分析

スポーツ産業の有力企業の株式公開の可能性を業績面より検討した。十分公開できる企業も多数あり、公開志向中の企業も含め潜在的ニーズは高いものと思われる。

また、経営力の優劣で業績にはっきり差が出る業界で

あり、ベンチャー企業が排出してきており今後活躍できる余地の多い業界だと思われる。

5. 経営戦略

- ・ ニッチャー戦略と差別化
スポーツ産業に特化した専門性に磨きをかけ、独自の情報網・人脈で有望な企業の発掘および成長支援に注力する。今後拡大が期待されるスポーツビジネス分野への投資業務のパイオニアとなる。成長支援にかかわるコンサルティングで卓越し差別化する。
軽量経営に徹し、ビジョンを共有できる独立系VCと提携し、人材や情報インフラなどの経営資源を補完する。

6. ベンチャー企業の成功の要件

- ・ 一般的なベンチャー企業の成功の要件と投資に当たった際の検討ポイントを整理した。
- ・ スポーツベンチャーの成功の条件を整理するため、ソーシャルベンチャーとしての特質を大まかに把握するためのフレームワークを仮説として作ってみた。
- ・ 起業家がベンチャーを成功させるために必要なことはイノベーションを誘発する価値のあるミッションを掲げイノベーションを実現し社会に付加価値をもたらし幅広いステークホルダーの信頼と尊敬を勝ち得なければならない。経済的基盤を築き社会に貢献するというスタンスで、掲げたミッションの実現に努力し、社会からの信頼を勝ち取ることである。
- ・ また、コンプライアンスは、社会貢献以前に企業存続の前提条件であり、ガバナンスシステムを正しく機能させることが重要である。